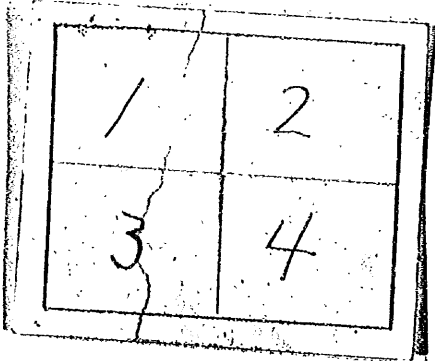


# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

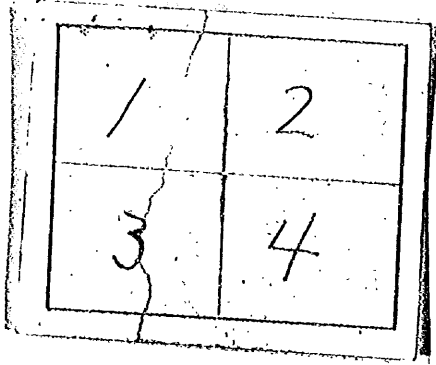




隊中材器	隊中六	隊中五	隊中四	隊中三	隊中二	隊中一	部本
	200						
							漆
							漆
	<p>           願園直轄となり開墾と同時に開山寺に至り            開山寺！上三峯の備前破軍を命ぜられ破軍            と同時に漆職となる職半也            二〇、八、一七、開山寺に於いて武解         </p>						
	<p>           八、二八、古茂山牧野所            (約者ノミ約六〇名)            一、一〇、延吉            二、四、竹葉野三大陸            成(草)佐々木大尉(一)            備前直「マツモキ」         </p>						



# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	



部隊名 第一二師團通信隊

通稱號 滿公二〇三五〇五四

郵便所名

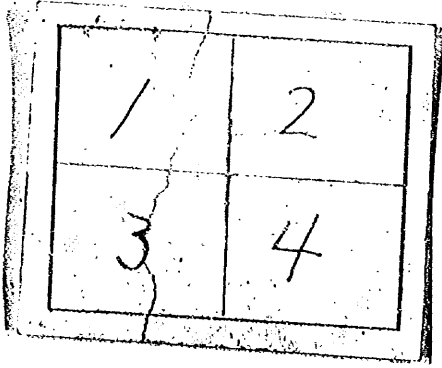
人員編制		隊別	隊名 (内は先代を示す)	長 大尉 穴倉 武人	本部	有	線	無
人員	編制							
開人	戦時	駐屯地	戦闘間の状況及損耗					
終戦後の人員變動			作業大隊より 入ソノ迄の變動 二〇、九、中絶 彈薬に於て五三作業大を編成(長、久見田大尉) 二〇、九、一七、砲臺出發 二〇、一〇、九、シラスキ 一、經由ロムンモリスラダ 二、收容所に收容					
入ソノ人員	隊別計	滿洲残留						
收容所			收容所名					
人員	死亡	滿洲より領						
歸還人員			人員					
人員	死亡	計						
状況不明者数			者数					
人員	死亡	計						
								中隊長 木島 石子
								限二〇、八、一、隊長を初め
								隊員大ニ全隊員ヲ作 方五三大隊 長 穴倉 久見田







# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0699  
0700  
0701  
0702

第三軍第一一二師團部隊名 第一一二師團輜重隊

通稱號 滿二〇三一七

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員人調編	別隊	隊長名	戰鬥間	終戦後	作業大隊	入ソ人員	滿洲残留	収容	
<p>二〇、五より開島密江を中心とする師團の防禦陣地確保中隊等 密江に機銃隊兵隊隊 密江屯に機銃隊兵隊隊密江屯より各陣地に砲臺機銃隊に任す 二〇、八、一七 密江屯小隊隊附近に後継隊と共に部隊は小隊隊に於いて武備整頓後部隊の分隊をそれぞれ一部將校以下士官兵の長として作業大隊に編入</p>		十九年以降	十九年以降		大 隊 本 部	<p>( )内は先代を示す 少佐 竹内 代雲 副官 杉本 中尉 杉本</p>	<p>戰鬥間 時 員 關入 駐屯地 春 珠 春 珠</p>	<p>戰鬥間の狀況及損耗 戦斗なし 八、九、環谷より密江屯に移動</p>	<p>終戦後の人員變動 九月初旬金若に移動作業五六大隊 一〇月初盤密江よりボシエツトクラスキ 一〇、一一、ヒロビチヤン第九令所</p>	<p>作業大隊より入ソの變動 作大以外で編入されしもの各隊部隊以下一三名 二〇、九、二、金若に於いて第一作大編成</p>	入ソ人員	滿洲残留	収容
(馬 鞍) 隊 中 二 第					第 一 中 隊	<p>中尉 政所 惹 准尉 福田 光巨</p>	屯江密						
中尉 鈴木進太郎													

別隊	大 隊 本 部	第 一 中 隊	第 二 中 隊 (馬 鞍)
隊長名 (内は先代を不示す) 少佐 竹内 代雲 副官 杉本 中尉	中尉 政所 慧 准尉 藤田 光亘		中尉 鈴木進太郎
戦 闘 入 時 間			
駐 屯 地	春 珠	屯江密	
戦 闘 時	春 珠		
戦 闘 間 の 状 況 及 損 耗		戦斗なし 八、九、環奈より密江屯に移動	
終戦後の人員變動			
作業大隊より 入ソノ迄の變動	作大以外で編入されたもの 各隊部隊長以下一三名 二〇、九、二、金着に於い て第一作大編成	九月初河金着に移動作業五 六大隊 一〇月初強嶺子トリガシエ ツトクラスキー 一〇、一、ビロビチヤン 第九令所	
入ソノ人員	除別		
計			
滿洲残留			
收容所	收容所名		
所 入	員所入		
死 亡	死亡		
滿洲より領	より領		
計	計		
者 数	者 数		
狀況不明			

隊名 第一二二師團輜重隊  
通稱號 滿二〇三一一七七

郵便所名

二〇、八、一七  
 香江屯小隊附近に集結  
 隊と共に部隊は小隊に於  
 いて武備を整え部隊の増  
 分隊を以て一部隊以下十  
 官兵の長として作業大隊を  
 編入


第六隊本部	第一隊中	第二隊中(馬鞍)	第三隊中(自動車)
少佐 竹元 代雲 副官 杉本	中尉 政所 慧 准尉 瀧田 光巨	中尉 鈴木 進太郎	少尉 鈴木 尚三
春 永			
春 永	屯江密		春 理 屯江密
	八、九、種彦より香江屯に移動		九、下旬金若、坂本、ク スキ、ト、ロビ、ヂヤン、地 作業大隊五、六、隊

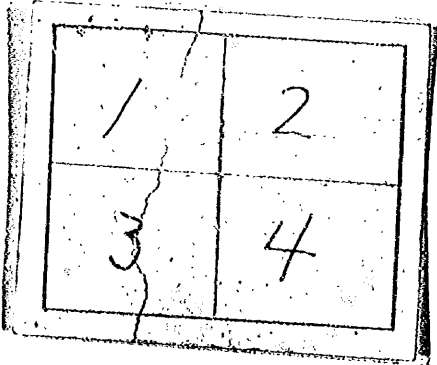
香江屯以外に編入せしむの  
 香江屯隊長以下一三、名  
 二〇、九、二、金若に於い  
 て第一作業大隊

九月初河金若に移動作業五  
 六、隊  
 一〇月初河金子よりボシ  
 ツトクラスキ  
 一〇、一、ロビ、ヂヤン  
 第九令所

九、下旬金若、坂本、ク  
 スキ、ト、ロビ、ヂヤン、地  
 作業大隊五、六、隊

(車動自)隊中三第	(馬 鞍)隊中二第	隊 中 一 第	部 本 隊 大
少尉 鈴木 尙三	中尉 鈴木進太郎	中尉 坂所 光彦 准尉 藤田 光彦	少佐 竹内 金太郎 副官 杉本 中尉 杉本
			春 理
春 理 屯江密		屯江密	春 理
<p>東条「密江屯」輕重機銃送密江屯附近の山中にて行方不明四十名 小隊編にて武原</p>		<p>戦斗なし 八、九、瑞彦より密江屯に移動</p>	
<p>九、下旬金谷「瑞彦」クラ スキ「ヒロビ」チャン地区 作業大隊五六大隊</p>		<p>九月初河金谷に移動作業五 六大隊 一〇月初河金谷よりゴロン ウトクランスキー 一〇、一、ヒロビ「チャン」 第九令所</p>	<p>作大以外で編入されしもの 終戦部隊送以下三名 二〇、九、二、金谷に於い て第一作大編成</p>

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	





部隊名 第一一二師團衛生隊

通稱號

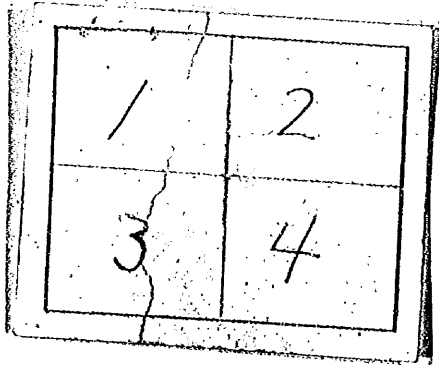
郵便所名

		買入掛
		別 隊
		隊長名 (内は先代を示す)
		戦時 戦時
		駐屯地
		戦時
		戦闘間の状況及損耗
		終戦後の人員變動
		作業大隊より 入ソノ迄の變動
		入ソノ人員
		満洲残留
		收容所名
		所入
		死亡
		満洲より領
		計
		者 数
		状況不明





# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0207  
0208  
0209  
0210

全般概要		轉入 十九年以降		轉出 十九年以降		員人制編		別隊		隊長名 (内は先代を示す)		戰人 時員 駐屯地 戰時		戰鬥間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より 入ソ連の變動		隊別 計		滿洲 殘留		收 敗					

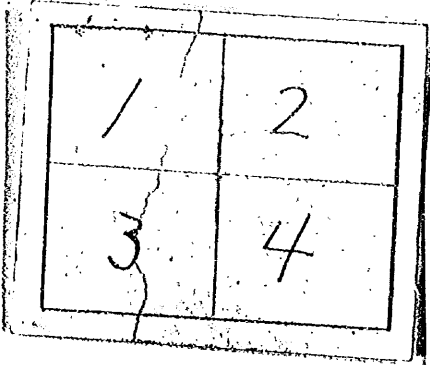








# 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

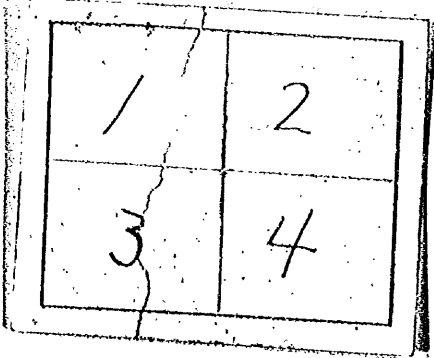








# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	





0710  
0711  
0712  
0713  
0714  
0715  
0716  
0717  
0718  
0719  
0720

所屬 第三軍第一一二師團部隊名第一一二師團病馬廠

通稱號公二〇三六六

郵便所名

全般概要

六、一〇  
陸軍部令第...  
戦死二、入院一〇、離隊一  
三、ソノ他七  
八、一六  
若干の歩兵と戦斗  
八、一八  
若江屯大橋に於いて其無  
難一〇、殺傷八八

轉入

轉出

員人制編

別隊

隊長名  
(内は先代を示す)  
獸大尉 田上 實

開入  
戦時

駐屯地  
平時  
戦時  
春 環  
屯江密

戰鬥間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より  
入「ソ」迄の變動

入「ソ」人員  
除別計

滿洲殘留

收  
收容

125 10 20 50

班 療 診 班 揮 指

支 班 送

支隊...  
班...  
送...

春飛行場で全員集結中...  
八月二十五日金暮れ移動した  
戦死者と五名

部隊名第一一二師團病馬廠

通稱號公二〇三六六

郵便所名

支		班		送		班		療		診		班		揮		指		別		除	
<p>降 員人制編 隊長名 (内は先代を示す) 隊大尉 田上 實 開人 駐屯地 平時 戦時 春 球 屯江密 戰鬥間の状況及損耗 終戦後の人員變動 作業大隊より入「ソ」迄の變動 入「ソ」人員 滿洲残留 收容所 所人 死亡 滿洲より 歸還人員 計 者 數</p>																					
<p>50 20 10 125</p>																					

二月廿八日金浦で竹下大尉は編入された(約八十五名)  
三月二日「ソ」ロビシヤン一五收容所(離隊三名)

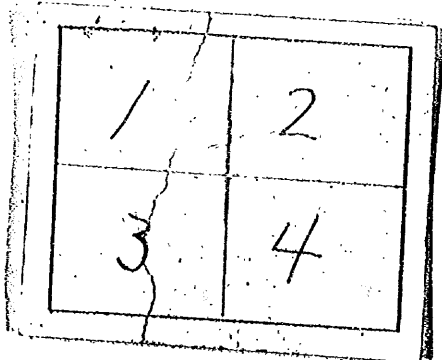
ソ領移送途中入院者十四名  
主力は「ロビシヤン」地  
區に收容  
八、一七「ロビシヤン」  
に於いて作業五六大隊を編  
成す  
長 竹百屈中尉  
次に山本正雄大尉







# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0723  
0723  
0724

所 第三軍第一一二師團部隊名 第一一二師團兵器勤務隊

通稱號 滿二〇三六六八

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員人制編	隊別	隊長名	戰時人員	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ッ迄の變動	隊別計	滿洲残留	收
隊長 中尉 長谷川 啓 二〇、五、一一 隊本部に於いて編成職員二 八名被服 九六式輕機銃一 自動食卓一 部隊は在江屯陣地に於いて 深溝橋谷及横濱製造廠にて 八、一七 部隊は在江屯に於いて武器 庫別定貯保管倉庫に收容		十九年以降	十九年以降	112	本 部	( )内は先代を不す	平 時 戰 時	春 球 屯江密	部隊は自決せる模様	九一五、作業五六大隊に約九〇名編入 不明 一〇、クワンキー經由 一〇、末、ヒロビチヤン地帯第五及第九收 容所に分離收容	入ッ迄の變動	隊別計	滿洲残留	收
班	二	班	一											



班		班		部		本		別		隊	
										員人制編	
										隊長名 (内は先代を不)	
										戦闘間 戦闘時	
										駐屯地 戦時	
										戦闘間の状況及損耗	
										終戦後の人員變動	
										作業大隊より 入ソシ迄の變動	
										隊別 計	
										満洲残留	
										收容所名	
										死亡 より	
										満洲 より	
										計	
										者 数	

部隊名 第一二師團兵器勤務隊

通稱號 公滿二〇三九六八

郵便所名

部隊長は自決せる模様

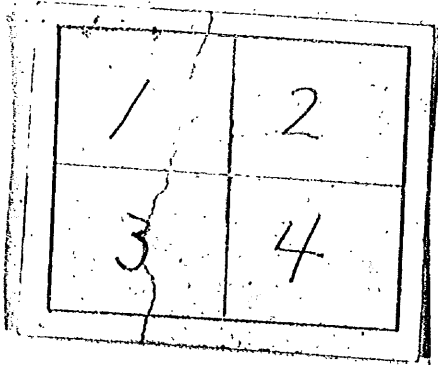
九、一五、作業五六大隊に約九〇名編入  
は不明  
一〇、クラスキー經由  
一〇、末、ビロビヂヤン地帯第五及第九  
容所に分離收容







# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	



部隊名 第二一二師團防疫給水部

通稱 滿二〇二九六一

郵便所名

員人編		別 隊		隊長名 (内は先代を不)		開入 戦時		駐屯地		戦闘間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より 入ソ返の變動		入ソ人員 隊別計		滿洲残留		收容所名		收容所		歸還人員 滿洲ソ領計		状況不明 者数	



